

将来の「地域の担い手」を育てるために

「五郷学習」の取組

熊野市立五郷中学校

子どもの実態

子どもたちは、少人数ということもあり家族的な雰囲気の中でのびのびと育ち、性格も素朴で朗らかです。小規模校のメリットとして、先生の目が一人ひとりに充分行き届いています。また先生たちもそれを「強み」と捉え、**少ないからできないのではなく、少ないからこそできること**、一人では完結できないからこそ**「自分で考え・・・」「協力して・・・」**活動しなければならない場面をたくさん作り、数多く体感する取組を進めています。特に協力的な地域性を生かして、活動の場面を学校外へむけ、子どもたちを育てる工夫をしています。



五郷地区の特色をいかした「五郷学習」

未来を担う子どもたちの豊かな成長には、世代を超えた様々な人との出会いや地域の資源、人材をいかしたこの地域ならではの学習を行い、「五郷の良さ」に気づき、「五郷を愛する気持ち」とこれからの五郷に生きる人の生活、文化、環境などを守っていく態度を育み、**『将来の担い手』**としてたくましく生きる力を育てていくことが大切です。そのため、これまでの体験学習を含む様々な活動を、本校ならではの学習である**「五郷学習」**とし、カリキュラムに位置づけ取り組んでいます。

この学習は新しい教科として創設したものではなく、総合的な学習の時間を軸とし、教科横断的に展開しています。地域の皆さんは学校への理解もあり、協力的です。学校運営協議会を中心に地域関係諸団体との連絡を密にし、地域の人材や資源を活用し、自然や地域社会を生かした独自の学習が展開できる環境にあります。

農業体験、地域学習、郷土劇など、これまでの小中学校での実践を財産とし、義務教育9年間を見据え、系統的に組み立てて多様な学習を展開し、**魅力ある学校づくり**をすすめ、地域住民との触れ合いを通して、郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りを持つ子どもたちを育てていきたいと考えています。



「五郷学習」推進計画

目標 9年間の育ちの中で、環境教育、キャリア教育、総合的な学習そして郷土学習をふくんだ「五郷小・中学校独自」の特色ある学習をすすめ、五郷の良さに気づき、五郷を愛する気持ちとこれからの五郷に生きる人々の生活・文化・環境などを守っていく態度とそれらを生かし、「将来の担い手」としてたくましく生きる力を育てる。

取組の重点

- ・五郷の豊かな自然に気づき、日常の生活と結びつけて、環境を守る態度を養う
- ・共に生きる仲間や地域とのつながりの中で、自己を見つめ、よりよい生き方を考えるキャリア教育の推進
- ・課題にむかって、主体的・協働的に取り組み、「将来の担い手」として生きるための実践力を育てる

中学2・3年

- 地域の良さについて誇りを持って発信できる
- 職場体験を通して働く意味や自分の生き方を考える
- 自分の個性や能力を考え、夢を大切に進路を決める

小学5・6、中学1年

- 自分の個性を見つめるとともに、係や仕事に対して責任を感じ最後までやり遂げる
- 農業体験を通して働くことに興味を持つ
- 地域のために働いている人たちの仕事や役割の大切さに気づく

小学3・4年

- 自分の考えを進んで発表できる
- 友だちとのかかわりの中で自分の良さに気づく
- 地域の特色をいかした産業に気づく

小学1・2年

- あいさつや返事が大きな声でできる
- 自分のことは自分でしようとする
- 植物を大切に育てようとする
- 地域の行事や合同運動会に参加する

キャリア教育

人間関係・社会
形成能力

自己理解・自己
管理能力

課題対応能力

キャリアプラン
ニング能力

環境教育

総合的な学習
の時間

郷土学習

教科学習

学校運営協議会

保護者・地域との連携

五郷学習年間計画

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1・2	3
小学校 課程	レタス苗植え 社会見学 まち探検	茶摘み	レタス収穫 出荷 大又川水泳 三河山環境学習	水生植物調査 (大又川)	高菜種まき	高菜植付 サツマイモ 収穫	高菜収穫	保育所 訪問	高菜収穫	6送会
中学校 課程	田植え 草取り 郷土学習 地区合同運動会 稲刈り 防災学習 文化祭 収穫祭									
	社会見学		職場訪問 職場体験 交流学习	救命救急 講習	創作郷土劇		進路学習	愛好作業	3送会	

五郷地区の地域資源・人材を活用し、小中9年間で取組を進めています。

五郷学習の取組

～中学校課程（3年間）の取組～

新入生歓迎「校外学習」



4月当初には、生徒会主催の新入生歓迎会として「校外学習」に出かけます。新しい仲間との親睦を深めるとともに、五郷地区に関係のある史跡などを訪れ、学習をすすめます。文化祭で行う創作郷土劇の舞台であったり、また新しく劇としての取組を行う場所を訪れたり、五郷地区に係わる内容をどのように地域に発信するかを考えます。



平成30年度は「赤木城」跡を訪れました。ここは五郷地区と関係の深い「北山一揆」と関わりのある場所でもあります。子どもたちにとっても、知らなかった「五郷」の姿があり、この学習内容を地域の人に伝えたいという思いを強くした様子でした。

「農業体験」学習



五郷地域は米づくりが盛んです。水がきれいで蛍の生息地として有名であり、「ホタルのヒカリ」と名付けた米作りに取り組んでいる。五郷地区の「ふるさと創生実行委員会」のキャッチフレーズが新しい3K農業（「きつい・汚い・危険」から「健康・希望・環境」）への脱却である。

このような五郷の自然の豊かさを感じ、そこで働く人たちと触れ合うことで、五郷のよさを再確認しようと小学校と共に米作り体験を行っています。コミュニティ・スクールでもある本校は、学校運営協議会のメンバーでもある、地元の「ふるさと創生実行委員会」や五郷婦人会の皆さんによって、この学習を支援していただいている。

この体験活動でも小学生に気遣ったり、やさしくアドバイスをする中学生の姿が見られます。また「将来はこの地で農業をする」と宣言する生徒もあり、地域の担い手として育ってきている姿も見られます。

『収穫祭』

昔ながらの農具を使った「草取り」や秋の収穫を経て、自分たちで作った米の収穫を祝い、そしてご協力いただいている地域の皆さんや五郷の豊かな自然に感謝の気持ちをこめて、保護者・地域の人を招き、12月に「収穫祭」を実施しています。

熊野市五郷町の活性化を目的に「ふるさと創生実行委員会」が主催する「五郷地区の子どもたちによる米作り体験」が3日、同町の五郷地区で実施された。五郷地区の子どもたちと、五郷地区の大人たちが協力して、五郷地区の米作り体験を行った。

【かまの使い方を指導する大橋さん】 【挨拶する前川生徒会長】

この日は、五郷地区の子どもたちと、五郷地区の大人たちが協力して、五郷地区の米作り体験を行った。

【稲刈りに励む子ども達】

この日は、五郷地区の子どもたちと、五郷地区の大人たちが協力して、五郷地区の米作り体験を行った。

収穫の秋に感謝 五郷 児童生徒が稲刈り体験

熊野市五郷町の活性化を目的に「ふるさと創生実行委員会」が主催する「五郷地区の子どもたちによる米作り体験」が3日、同町の五郷地区で実施された。五郷地区の子どもたちと、五郷地区の大人たちが協力して、五郷地区の米作り体験を行った。

五郷学習の一環として取り組んでいる農業体験。コミュニティ・スクールとして、保護者・地域から多くの支援をいただいています。

（2018.9.3『吉野熊野新聞』より）

郷土の歴史を知る

校外学習で訪れた「北山一揆」にかかわる学習を行いました。

戦国時代、社会科の授業で学習した「太閤検地」とこの地域の関わりを深く知ることができました。

今年度はこの学習内容を劇にして地域の皆さんに発信しようと郷土歴史研究家の中田先生に来ていただき、学習を深めました。この学習には五郷小5・6年生も参加しました。



五郷地区「合同運動会」



五郷地区では、保育所、小学校、中学校、地域諸団体等、学校と保護者、地域で合同の運動会を開催しています。「保・小・中」の連携を深めるとともに、保護者、地域、学校が相互に連携を深め**地域全体の親睦**を図ります。

地域の行事のなかで、子どもたちは競技に参加するだけでなく、運営に参加したり、係の仕事を行うことで、**責任感や地域の一員としての自覚**も生まれてきます。地域の皆さんに子どもたちの成長を感じてもらう機会であるとともに、**地域のコミュニケーションの場**にもなっています。

職場訪問・職場体験

地域や市内にある事業所、農家にお世話になり働くことについて体験し、学習する機会をもっています。自分の将来のことを考えたり、自分を見つめ直す機会ともなっています。

この学習を通して、子どもたちは職業や産業、勤労についてだけでなく、いつも気さくに話している地域のお店の人や汗をかきながら田畑で働く地域の人に対して、今までと違った感情を持つとともに家族への感謝の気持ちをもって、学習を終える子どもたちが多いようです。



創作郷土劇

実際に地域であった歴史的な出来事を題材に創作郷土劇に取り組んでいます。

自分たちが生活する地域にどんな歴史があり、当時の五郷の人たちは何を考え、どんな思いを持って生活をしていたのか。自分たちの祖先にあたるかもしれない人々を演じることで、**先人の思いや行動が、現在に脈々とつながっていることを実感**

します。そのことで、自分たちの「ふるさと」に愛着と誇りをもつ気持ちを育てようと「**五郷学習のまとめ**」として「創作郷土劇」の取組をすすめています。



「おこん物語」(H28 年度)



「キク物語」(H29 年度)



「北山一揆 ～その前夜～」

(H30 年度)

地域への発信

五郷学習

地域を知る
地域を体感
キャリア教育
環境教育

自分たちの
「学び」を
プレゼンテーションし
地域へ

『地域』で学んだことを『地域』へ返す

文化祭では、創作郷土劇とともに、総合的な学習の時間を中心とした「**五郷学習**」での学びを**プレゼンテーション**を通して、**地域へ発信**しています。文化祭には例年、地域住民の4分の1ほどの人たちが来ていただき、子どもたちの成長する姿を見ていただいています。

近年は、地域外からの来校者も増え、なかには毎年、劇を楽しみに大阪から見える方もおられます。



感動与える全校劇

熊野市五郷中学校で文化祭



熊野市五郷中学校（高田有治校長）で十二日、文化祭が開催された。今年のテーマは「声の心の叫びを伝えよう」。五郷小学校と五郷中学校の児童・生徒が人権や地域についての作文を発表。音楽発表では、合奏や合唱に大きな拍手が送られた。

引き続き、小中学生が五郷町で実際に起こった話を元にした全校劇「キク物語」を披露。幕末から明治初期にかけて行われたキリシタン弾圧で、長崎から流罪となったキクを温かく迎え入れた心やさしい五郷の人々を演じ、米場者が笑って泣いて感動していた。会場には、中学生のほか、小学生と地域住民の作品も展示され、好評だった。



多くの方に
来ていただこうと、地域に案内を配っています。

文化祭での創作郷土劇「キク物語」。新聞にも掲載されました。
(2017. 11. 12『南紀新報』より)

地域からの支援

五郷地区は、子どもたちの育ちについて地域の積極的なかわりがあり、協力的な地域です。人口が少なくても「強いつながり」があり、「共生の文化」が根付いている。コミュニティ・スクールでもある本校は、学校運営協議会を中心に、地域諸団体から積極的な支援をいただいています。



農業体験への支援



キャリア教育への支援



合同運動会にむけた奉仕作業



五郷婦人会からの支援



郷土劇への参加

保護者、地域の方も参加した創作郷土劇「北山一揆 ～その前夜～」。
(2018. 11. 7『中日新聞』より)

自分の生活する郷土を様々な角度から見つめ、そして様々な体験、様々な人との出会いは、その地域で生きている自分の存在を自覚することにつながります。「五郷」についての知識、歴史、産業そしてそこで生活する人たちのことを考え、系統的に学習をすすめていくことで、ふるさとへの愛着が深まり、そのことが起因となり「ふるさと・五郷」を誇りに思う気持ちが育つと考えています。また、**ふるさとを誇りに思う気持ちは自分を肯定する気持ち、つまり自己肯定感や自己有用感にもつながってくるもの**と考えています。

本校は小さな規模の学校ですが、逆に小規模であるからこそ、**保護者・地域の多くの人たちの支援が全ての子どもたちに享受**されていきます。そのことで一人ひとりの主体性と協働性を大きく成長させていると考えています。地域とともにある教育活動は、子どもたちの自己有用感を育て、「将来の地域の担い手」としてたくましく生きる力を育んでいます。今後も地域連携を深め「地域に開かれた教育課程」をすすめ、子どもたちを保護者・地域とともに育てていきたいと考えています。

